



Safe Crop Project News



No.16 2019年1月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライチェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

第4回安全作物ビジネスフォーラムの開催

2018年12月11日に、農業農村開発省傘下の Agritrade を会場に、ハノイ市の Hanoi Promotion Agency (HPA) と共に、生産者とバイヤーのマッチングを目的とする第4回安全作物ビジネスフォーラムを開催しました。

今回のフォーラムの特徴

これまでのフォーラムは、前半セミナー、後半マッチングの二部構成としていました。しかしこの構成では、セミナーが長引いてマッチング時間が不足する、収穫物の展示スペースが不足する、という課題がありました。多忙なバイヤーに参加してもらうことは容易ではないのですが、折角参加してもらっても、マッチングの時間を待ちきれずに帰ってしまうバイヤーも見られました。多くの来場者を集める観点からセミナーとマッチングの構成としていたにも関わらず、二部構成であることが本来の目的であるマッチングの効果にも影響を与えていました。

今回は、目的をマッチングに絞り、会場に生産者グループごとのテーブルを配置し、参加者が自由に見て回れる形式としました。大手スーパーなど有力バイヤーには、事前に生産者グループの情報を提供し、商談したい生産者を予め伝えてもらうことで、多忙なバイヤーが効率的にマッチングできる仕組みを導入しました。また生産者には、持ってきた野菜を実際に販売したいという要望もあることから、ハノイ女性消費者クラブと連携し、関心の高い消費者に安全野菜を購入してもらう機会を設けました。

フォーラムの成果と今後の課題

フォーラムには、プロジェクトが支援する6省18の生産者グループ、バイヤー、日系農業資材メーカー、消費者など、約120名が参加しました。プロジェクトの積極的な働きかけもあり、ハ

ノイの大手小売り業者、流通業者、安全作物ショップなどのバイヤーが参加し、生産者グループと商談を行いました。2つの生産者グループが、バイヤーと野菜の供給に関する基本契約を締結するなど、これまでに比べると、マッチングの精度は向上してきたと見受けられます。また多くの消費者が参加し、収穫されたばかりの新鮮で安全な野菜を購入していました。



生産者グループごとに配置されたテーブルを回るバイヤー

一方で、商談したバイヤーの連絡先も聞いていないなど、生産者の商談スキルには改善の余地が見られました。また複数の生産者グループからバイヤーが少ないという声が聞かれました。マッチングの時間が増えたことで、顕在化した課題といえますが、安全野菜のバイヤーに限られる中、決められた時間に多くのバイヤーを集めることは容易ではありません。今後は、野菜以外も対象とするなど、持続性も踏まえた効果的な開催方法を検討する必要があります。

IFC 7th International Food Safety Forum への参加

2018年11月28日、29日の2日間、World Bank (WB) 傘下の International Finance Corporation (IFC) が主催する第7回国際安全食品フォーラムがホーチミン市で開催され、JICA からはベトナム事務所室岡次長、萱野所員が、本プロジェクトからはチーフアドバイザーの山本が参加いたしました。

フォーラムを主催する IFC は、WB 傘下の組織の中でも発展途上国における営利目的の民間プロジェクトへの投資が可能な組織です。発展途上国のビジネスには様々なリスクがありますので、民間金融機関が融資しにくい中長期的なローンや、気象条件に影響を受けやすい農業分野への融資も行っています。

第7回フォーラムでは「**Better Food Safety, Better Business**」をテーマとして、食品の安全性を高めることでさらなるビジネスチャンスを掴むことが議論されました。ベトナムを



JICA ベトナム事務所室岡次長によるプレゼンテーション

含む世界各国から参加した企業の代表者からは、「農家との長期的なコミュニケーションの重要性」、「かかるコストと利益の考え方」、「各種法制度の農家への分かりやすい説明」、「農産物を取巻く社会や法制度の変化に対応する継続的な学習の重要性」などが述べられました。また、農産物の安全性を高めるためには、関係者間の「信頼の重要性」と「各規則や規制の確実な実施の重要性」も述べられ、本プロジェクトの取組の根幹とも合致する事を確認できました。



参加者からの関心を集めたプロジェクト対象グループの安全野菜

また、室岡次長より、本プロジェクト活動を含む JICA のベトナムにおける農産物の安全性向上に関する取組を発表頂きました。本プロジェクトで進めている安全農産物の産地形成は、一農家の取り組みでは実現できません。1人よりも2人、2人よりも3人、3人よりも4人で行う協働作業の重要性が説明され、参加していた中小規模のベトナム企業の方々はもとより、主催者である IFC から好評を得ました。本プロジェクトからは、前々日に収穫した 10 種類の野菜を会場で展示し、小規模農家グループや農協、農業法人との地道な活動による成果を参加者に披露することができました。

現在、本プロジェクトはパイロット 1 市 3 省からセミパイロット 3 省、経験共有 1 市 5 省へと活動を広げています。今後、活動を広めながらも市場や消費者の「信頼」を失わないよう、生産者への「安全作物生産工程 (Good Agriculture Practice: GAP) の確実な実施」を継続して指導していきます。

参考 Web サイト :

https://www.ifc.org/wps/wcm/connect/industry_ext_content/ifc_external_corporate_site/agribusiness/news/food+safety+forum

セミパイロット省の紹介—フートー省

セミパイロット省紹介の最終回となる今回は、フートー省を紹介させていただきます。フートー省は茶栽培で有名ですが、近年野菜栽培の発展にも力を入れています。以下、フートー省の農業概況について、フートー省農業農村開発局にレポートいただきました。

北部中山間地域のフートー省はハイフォン市—ハノイ市—昆明市（中国）を結ぶ経済回廊沿いに位置します。省面積は 3,532km²、この内、農地面積は 97,610ha、森林面積は 195,000ha、水産養殖面積が 10,000ha となっています。農産物栽培面積は 112,700ha で、内、穀類栽培面積が 81,100ha、芋類栽培面積が 8,800ha、野菜・豆類栽培面積が 15,200ha、工芸作物栽培面積が 4,400ha を占めています。フートー省には Doan Hung 郡のザボン、Phu Ninh 郡 Gia Thanh コミュニの柿、Thanh Son 郡 Dich Qua コミュニの子キン等、消費者に広く好まれている特産品も多くあります。

省政府は生産課題の解決と投資促進による農業生産の強化に取り組んでおり、苗、農業資材、商品作物生産エリアの支援等、農業発展を優先する政策メカニズムが実施されています。特に先進技術の導入は労働の減少と生産効率の向上に貢献しています。

Cam Khe 郡、Ha Hoa 郡、Viet Tri 市、Lam Thao 郡、Phu Tho 町等において野菜生産エリアの形成が進んでおり、農家による新しい技術や高品質・高収量品種の導入も進んでいます。2018 年は 2017 年よりも野菜栽培面積が 490ha 増えて 14,200ha に、生産量は 1.2% 増えて 14.84 トン/ha となっています。栽培される野菜も多様で、冬瓜、苦瓜、ハヤトウリ、胡瓜、トマト、キャベツ、ツルムラサキ等の葉菜類が多く栽培されています。一方、

販路は仲買人への販売が多くを占めており、一部のみ食堂や地場商品紹介店等へ販売されています。

今後も、フートー省の農業農村開発局では、高品質野菜の栽培を推進し、省の農林水産品の価値の向上と、消費者のニーズに応えることに貢献していきます。



Tam Nong 郡における胡瓜のハウス栽培

プロジェクトではフートー省の対象グループとして、Tam Nong 郡 Huong Non 農協と Phu Tho 町 Truong Thinh 農協を選定しました。いずれの農協も安全野菜生産を行っていますが、販路開拓が課題となっています。現在栽培が進められている冬作において、販路開拓に向けた品質管理体制の強化、共同出荷体制の構築、並びにマーケティング支援活動を実施中です。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam
Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com